

R7

市民協働のまちづくり 活動応援補助金 活動集



枠	団体名	活動名	ページ
チャレンジ支援枠	きねはら防災取り組み隊	地域の災害リスクを自治会規模でマップ化！～きねはら防災プロジェクト～	2
チャレンジ支援枠	にこにこベビーサークル	子育て世代の交流及びイベントの開催	3
チャレンジ支援枠	Play+Art Festa実行委員会	Play+Art Festa in東広島	4
チャレンジ支援枠	東子に花を育てる会	東子に花を育てる会	5
チャレンジ支援枠	いっしょに遊ぼう西条キッズ	夏休みの居場所づくり	6
チャレンジ支援枠	ががら交流会	あったか子育て、生きる力を伸ばそうプロジェクト	7
チャレンジ支援枠	河内町郷土史研究会	河内町『八十八石仏』の調査	8
チャレンジ支援枠	フレアドの会	みんなで知ろう「防災とフレイル予防」	9
市民活動団体支援	一般社団法人ひろしま農育プロジェクト	子ども達の生きる力を育てる「わくわく農育スクール」	10
市民活動団体支援	あきつとあしたに	地域活性化のための講演会事業	11
市民活動団体支援	三永まちづくり隊	三永まちづくり隊	12
市民活動団体支援	一般社団法人ひとむすび	秋のガイドコロプロジェクト	13
市民活動団体支援	生活の森おうちえん	豊栄の子育て支援と地域交流、文化継承	14
市民活動団体支援	可能性無限ラボ	広島県のへそへ集まろう！丘の上マルシェの実施	15
市民活動団体支援	心豊かなくらし会議とよさか	こころ通う会議	16
市民活動団体支援	高屋町南部地域野生動物問題連絡会	地域での効率的な鳥獣害対策(ツール開発)、住民支援	17
市民活動団体支援	ひみつきち	学校以外の道を選ばざるを得なかった親子の伴走	18
市民活動団体支援	一般社団法人東広島青年会議所	伝統の絆、未来への架け橋 国境を越えて響き合う 東広島音頭と盆踊りの輪	19
市民活動団体支援	NPO法人白市町家保存会	白市町家活性化プロジェクト	20
市民活動団体支援	次世代による東広島の戦争原爆体験継承ネット	Peace Bearersによる2つのプロジェクト推進	21
市民活動団体支援	つくれば工房	農村と市街地の人を結び、遊休農地を活用した市民体験農園の立ち上げ	22
市民活動団体支援	パピコ	「パピ★コレ～パピコ写真展＆ファッションショー！」	23
市民活動団体支援	東広島不登校支援ネットワーク connect+	東広島市不登校支援ネットワーク強化事業	24
市民活動団体支援	西高屋駅前まちづくり実行委員会 G11plus	第2回 西高屋駅前 夏の学園祭 × eスポーツパブリックビューイング	25
住民自治協議会支援	乃美別府住民自治協議会	板鍋山なごみ園内の公園階段への「てすり」設置工事	26
住民自治協議会支援	小谷小学校区市民協働まちづくり協議会	小谷夏まつり大会 子どものまつり、みんなのまつり	27
住民自治協議会支援	三永まちづくり協議会	市民ポータルサイトを利用した電子回覧板の活用促進	28
住民自治協議会支援	西志和まちづくり自治協議会	みんな集まろう 西志和夏まつり 2025	29
住民自治協議会支援	東志和小学校区住民自治協議会	志和の中央にそびえる“生城山の観光地化”計画	30
連携活動支援	豊栄地区まちづくり推進連絡会	家庭で出来るわたしの身体ケア体験講座	31
連携活動支援	東志和小学校区住民自治協議会	連携活動支援 もっと”ふれ愛”交流会	32
継続活動支援	寺西まちづくり推進協議会	「寺西楽しい音楽祭」開催	33
学生団体支援	クリエイティブタウンを創る学生の会	学生のやりたいことをクリエイティブに実現	34
学生団体支援	広島シオジ会	東広島市の自然共生サイトに係る保全活動	35



チャレンジ 支援枠

地域の災害リスクを自治会規模でマップ化！
～きねはら防災プロジェクト～

活動内容

- ①平成30年7月豪雨の被災経験の伝承
- ②住民同士の交流活性化、の2点を軸に、1自治会というミニマムな規模で「災害リスクマップの作成」に取り組んだ。住民主体のDIGイベントを通じて避難経路上のリスクを洗い出した。360度カメラやドローンによる空撮など最新技術の活用にも挑戦し、災害リスクマップとして取りまとめた。

補助金の使い道

DIG(災害図上訓練)イベントで使用した事務用品、試食用の非常食、ドローン講話の謝礼。

達成できたこと

住民主体で「災害リスクの可視化」が可能であることを確認した。イベントを通じて住民交流の場を副次的に提供できた。ドローン等を併用し、よりイメージしやすいリスク情報を有するマップにできた。

今後チャレンジしたいこと

体験型ワークショップやまち歩きを開催し、避難行動タイムラインの普及及び作成支援に取り組む。マップ及びマップ作成マニュアルを活用し、他地区との連携を図る。

隊長: 今井貴晟

連絡先: superbkillerist13

@yahoo.co.jp

にこにこ ベビー サークル



子育て世代の交流及びイベントの開催

チャレンジ 支援枠

活動内容

親子交流会を月2回開催し、0～3歳児と保護者を対象にふれあい遊びや絵本の読み聞かせなどを実施した。さつまいもの植え付けや収穫、焼き芋パーティ、クリスマス会など季節の行事を行い、地域とのつながりづくりにも取り組んだ。

補助金の使い道

親子交流会や季節行事に必要な材料費(工作用品、消耗品、さつまいも栽培に関する資材等)に充てたほか、絵本の購入や活動備品の整備に活用した。

達成できたこと

親子が安心して集える居場所を継続的に提供し、保護者同士のつながりが生まれたことで、子育て世帯の孤立感の軽減につながった。また、定期的な交流や季節行事を通して顔見知りが増えた。

今後チャレンジしたいこと

今後は参加者主体の運営を進めるとともに、今年度協力いただいたボランティアに加え、地域の農家とも連携し、果物狩りなどを通じた食育活動に取り組みたい。

代表 中向井 真由紀

連絡先:0823-70-4371(黒瀬児童館)



Play + Art Festa in西条中央公園

チャレンジ
支援枠

活動内容

障がいのある方もない方も、年齢に関係なく誰もが一緒に楽しめるマルシェイベントを2025年9月21日(日)に西条中央公園で開催した。マルシェブース(雑貨・クラフト・ワークショップ)、キッチンカー、企業ブース、アート・音楽・食・ふれあいの交流企画を実施。特別企画としてふわふわドーム「のん太くん」を設け、車椅子専用利用時間を設けるなどインクルーシブな体験の場を提供した。

補助金の使い道


補助金は、特別企画「ふわふわドーム(のん太くん)」の利用費用に充てた。本企画では車椅子専用利用時間を設けることで、障がいのある方とご家族が共に楽しめる環境を整備した。地域に多様性と助け合いの価値を広げた。

達成できたこと

来場者約1,000名、ふわふわドーム体験者約400名を達成。車椅子利用者が家族と共に体験できる時間を創出し、「できない」を「できる」に変える成功体験を提供した。地域住民・企業・福祉・教育機関の連携による共生社会の実現に貢献。

今後チャレンジしたいこと

地域・企業・福祉・教育が連携しながら、誰もが主体的に参加できるインクルーシブな体験の場づくりを継続する。障がいの有無や年齢を超えた交流の機会を毎年発展させ、多様性と助け合いの価値を地域全体に広げていきたい。



東子に花を 育てる会



東子に花を育てる会

チャレンジ 支援枠

活動内容

さわやかサロンメンバーの門前さん(82歳)が32年間育ててこられた東子の花壇を続けることができないと相談があり、サロンの有志のみんなと一緒に育てることにしました。草取り、移植、水やり、苗植えなど協力して花壇をお世話しています。

補助金の使い道

サロンの有志のメンバーはほとんどが80歳を超えており、日陰をつくるパラソル、水やり、草取りの工具を保管する保管庫を購入しました。安全のためのイローベストも購入し、着用して作業をしています。


達成できたこと

①東子地域の花壇を荒らさず、維持できた。②さわやかサロンの楽しみが増えた。③地域で散歩する人や国道を通る人の憩いの場になった。④苗植えには子供の参加もあり、ふるさとの花壇として認知された。

今後チャレンジしたいこと

草取り工具の充実、通路の整備、ベンチの設置など花壇の整備・充実を図っていきたい。また、看板を設置する等、地域の人や国道を通る人からも愛される「ふるさと花壇」にしていきたい。

代表 吉岡 宗男(080-3877-0286)
YouTube「さわやかサロン」
「東子に花を育てる会」で検索



いっしょに
遊ぼう
西条キッズ



夏休みの居場所づくり



チャレンジ
支援枠

活動内容

地域に「誰でも来られる居場所」を。西条中央エリアで、子どもから大人まで自由に集える場として和泉集会所を開放します。レゴや工作などを通じて世代や国籍を超えた交流を生み、「顔見知り」が増える地域づくりを目指します。小さな場から、人と人がつながるきっかけを創出します。

補助金の使い道

集会所の利用料や消耗品の購入、熱中症対策のための飲料費、遊具(レゴ等)のレンタル費に充当し、安全で円滑な運営環境の整備に活用しました。これにより、参加者が安心して過ごせる居場所づくりの実現につながりました。

達成できたこと

子どもたちが安心して過ごせる居場所や地域住民が気軽に集い交流できる環境を提供できました。世代や国籍を超えたつながりが生まれ、地域の関係性づくりに貢献できたと思います。

今後チャレンジしたいこと

子どもたちの健やかな心を育む場として地域全体で関われる環境づくりを進めていきます。年齢や国籍を問わず誰もが関われる居場所を広げることにもチャレンジしていきます。

連絡先 インスタグラム
(@ishoni.asobo.saijiyo.kids)のDMへ



ががら交流会



あったか子育て、
生きる力を伸ばそうプロジェクト

チャレンジ
支援枠

活動内容

子どもの長期休みを利用し開催している交流会です。体験活動で子ども達が学びを深め、年代を問わず乳幼児から高校生、その親も参加できます。親も人とつながり、不安や悩みを話し合える温かなコミュニティです。生活に直結した体験や学びを考え、7月は「こども食堂（おむすび・クレープ作り）」自分で作って食べる体験、12月は助産師さんのお話を実施しました。

補助金の使い道

補助金を活用し、夏休みはおむすび・クレープ作りを通して子ども達が「できた」を実感できる食育活動を実施しました。

達成できたこと

自立心・自己肯定感の向上：作ったものを皆で食べることで達成感や喜びを実感できました。
社会性やコミュニケーションの促進、自身の命を大切にする心を育む：異年齢の子ども同士が関わり、協力したり会話したりする機会が生まれました。

今後チャレンジしたいこと

防災体験(非常食づくり、避難の流れを知る)など 自分を守る力につながり、親も一緒に考える活動もしてみたい。



河内町 郷土史研究会



河内町「八十八石仏」の調査



チャレンジ 支援枠

活動内容

100年前に河内町内に設置された四国八十八ヶ所めぐりの移し霊場の石仏を一つ一つその位置、現状、まつわる話、その変遷(特に位置、破損、非材)等々を写真撮影、記録し、広島大学とも連携し調査し、その結果を大学の先生と学生さんによる講演会として、住民の皆さまに報告した。

補助金の使い道

講演会の講師謝金、石仏調査に伴う熱中症対策飲料水、写真印刷、講演会資料、冊子(簡易)作成

達成できたこと

- ・全石仏の位置の確認、本体及び周辺の写真撮影。
- ・石仏の周辺住民の方から、歴史、いわれ等を聞き取ることができた。
- ・調査の中間報告として、講演会を開催できたことは、郷土史会会員及び住民に対して共感を得ることができた。

今後チャレンジしたいこと

更なる調査の成果をまとめ、住民の皆さまに還元したいため、今後は、石仏の位置マップ、石仏の歴史に関する紙芝居、簡単なパンフレット等を作製したい。



フレアドの会



みんなで知ろう「防災とフレイル予防」

チャレンジ 支援枠

活動内容

フレアドの会のフレイル予防アドバイザーが、西条住民自治協議会福祉部会、市役所医療保健課、危機管理課の協力のもと、東広島市防災士ネットワーク、地域貢献を行う企業(株式会社パールスター、株式会社Switch等)とコラボした、「フレイル予防と防災」をテーマにしたイベントを企画し、西条住民自治協議会主催の敬老会の開催時に自治協議会が借りているスペースの一角で実施した。

補助金の使い道

コラボした企業への委託料(子ども縁日)や東広島市防災士ネットワークへの謝礼、啓発のためのポスター、チラシの作成、展示用の資料作成、フレイル問診票作成のための消耗品に使用した。

達成できたこと

予想以上の参加があり、多世代にフレイル及びフレイル予防の大切さを知ってもらった。防災、子ども縁日とコラボすることで、多世代交流の場にもなった。

今後チャレンジしたいこと

年に1回は他団体や他分野の方とコラボしたフレイル予防イベントを開催したい。また、様々な場所でフレイル予防の講座も開催して、介護予防に貢献していきたい。

事務局:社協 梶永
フレアドの会(現 五本柱の会)
豊栄町別府41-2



一般社団法人
ひろしま農育
プロジェクト



子ども達の生きる力を育てる
「わくわく農育スクール」

市民
活動
支援枠

活動内容

農業、自然、職業体験をフリースクールや教育施設(幼稚園など)からの受託を行う。当法人が使用している農地、山、空き家を活動の場とする。

開催時期は定期的に行うが、人員体制が整い次第、平日毎日開催予定。

- ・農業体験・自然体験・職業体験
- ・カウンセリング

上記を通して子ども達の生きる力を育てる。

補助金の使い道

- ・食育活動やイベントでの食材購入費
- ・農作業に必要な農業資材の購入費
- ・サードプレイスとして使用した空き家のリノベサークル材料費 など

達成できたこと

不登校や障害を抱える子供たちが自ら考え、取組み、生きる力を育てる機会やイベントを実施できた。特に夏祭り・冬祭りでは子供達の主体性を伸ばす事が出来て、喜びの声と継続の要望をいただいた。

今後チャレンジしたいこと

- ・既存活動の農育ブートキャンプの参加者を増やし、自立を目指す。
- ・子ども宅食事業の支援家庭の子供達も参加できる体制をつくっていく。
- ・若い人材の育成。

連絡先: hi.nouiku@gmail.com
Instagram:ひろしま農育プロジェクト【公式】

人口2700人の町が目指す「明るい過疎化」

人口減少時代のヒントを探している方へ、まろづくらの花餅けん 梅本 聡太が語る「私達が目指す「過疎化」する町ありたい姿」

講演会
参加
無料



講師 梅本 聡太

安芸津町在住の若手経営者。一般社団法人まろづくらの花餅けん代表理事。岡山県立大学卒業。岡山県立大学で「まちづくり」を学ぶ。現在は、岡山県立大学で「まちづくり」を学ぶ。現在は、岡山県立大学で「まちづくり」を学ぶ。

Instagram: @tomagou.don

開催日 2026年 3/5 (木)

時間 18:30 - 19:00 (18:00 開場)

会場 third

オンライン講演会 無料

参加費 参加費 2,000円 (税別)

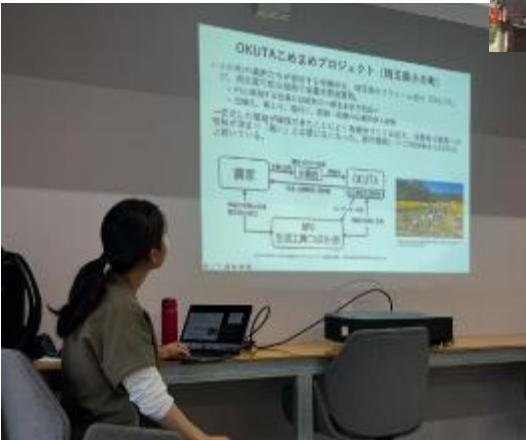
申し込み 18:00 受付

18:30 講演会

終了後 散会



NPO法人 あきつと あしたに



地域活性化のための講演会事業

市民 活動 支援枠

活動内容

地域の活性化につながる見解を企画、実施した。
3か月に1度安芸津町外から多数の参加者を集めて開催した。

補助金の使い道

- ・講師の方への謝礼
- ・会場費
- ・チラシのデザイン、印刷費

達成できたこと

普段の生活ではなかなか会うことができないような講師の話を市民と聞くことができた。
特に第2回目は200名を超える参加者となった。

今後チャレンジしたいこと

今後はインターネットを活用し、イベントのような非日常ではなく、日常単位で安芸津町の良さを広めたい。



三永
まちづくり隊



三永まちづくり隊

市民 活動 支援枠

活動内容

- ・ポイ捨てゴミ啓発看板の設置とポイ捨てゴミ収集と除草
- ・四季折々のプランター花設置

補助金の使い道

- ・ポイ捨てゴミ啓発看板の製作
- ・プランター花の購入

達成できたこと

ポイ捨てゴミが少なくなり又通行ドライバー等から称賛の声が上がってきた。
三永小学校児童たちも一緒に活動をするようになった。

今後チャレンジしたいこと

次世代(三永小学校児童)を巻き込みこの活動を継続していく。
地元企業の協賛には限界があり、東広島市からの永続的援助が必要。

隊長:岡野博幸

連絡先:090-7541-0849



ガイドコロプロジェクト

市民 活動 支援枠

活動内容

西条中央公園にて、市社協・学生・企業・市民団体・一般市民が協働し、300人規模のアウトドア型子ども食堂を計3回開催した。豚汁とごはんの炊き出しを行い、高校生以下は無料で提供。公園内での遊びや交流の機会も創出し、多世代がつながる居場所づくりを行った。

補助金の使い道

食材費(豚汁・ごはん用)を中心に、炊き出しに必要な消耗品(衛生用品・調理器具等)や備品(炊飯器・寸胴鍋・台車等)の購入に使用。また、公園使用料や調理室利用料、ガス釜・プロパンガスのレンタル費、体験コンテンツ提供者への謝金にも充当した。

達成できたこと

延べ363人に食事と交流の場を提供。小雨開催も災害時を想定した訓練として有意義で、当初の想定を上回る賑わいを創出した。

今後チャレンジしたいこと

次年度以降は月1回程度の定期開催を目指す。平日夕方開催などで支援対象を広げ、防災訓練や地域イベントと連携し、持続可能な地域拠点として定着を図る。

連絡先

hitomusubi.gia@gmail.com



生活の森
おうちえん



市民 活動 支援枠

豊栄の子育て支援と地域交流、文化継承

活動内容

東広島市豊栄町にある森で、子供や親子を対象にしたワークショップの開催、地域内外の方たちが交流できるイベントを開催

補助金の使い道

イベント開催にあたり要する講師謝金、出演料、音響設備レンタル料、ワークショップでの消耗品や救急用品など。また、森林整備など。

達成できたこと

過疎化が進む豊栄町の良さを多くの方に知ってもらうことができた。豊栄を気に入り、移住してくださった。また、地域の方と地域外の方の交流の場となり、喜んでいただけた。

今後チャレンジしたいこと

引き続きイベントを開催し、地域活性・移住者促進につながるような活動をしていきたい。また、移住ご希望の方に空き家案内ができるよう地域の方と繋がり、活動していきたい。

連絡先:090-6714-7755
Instagram:生活の森おうちえん

可能性無限ラボ



広島県のへそへ集まろう！
丘の上マルシェ

市民
活動
支援枠

活動内容

- ・音楽ステージ:地域の音楽愛好家によるステージ
- ・販売・体験ブース:地域店舗によるお菓子等の販売、体のケア体験、占い、ハンドメイド作品販売、ワークショップ
- ・スタンプラリー:りんご園、焼き菓子店、メイン会場を巡ってのスタンプラリー

補助金の使い道

- ・チラシ作成
- ・ブース用テント
- ・のぼり旗
- ・ステージ企画費

達成できたこと

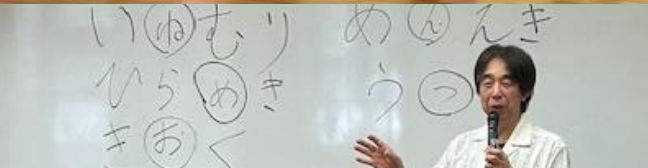
- ①2つのりんご園、焼き菓子店は完売。マルシェブースもほぼ完売。また後日、お店に来られた方もいる。
- ②300名以上の来場者のうち半分以上は地域外の方々。

今後チャレンジしたいこと

このイベントを続けて行くこと。そして、毎回、違う企画で楽しい場作りをしていく。

SNS:Instagram
丘の上マルシェ/東広島市
@okanoue.toyosaka

心豊かな
暮らし会議
とよさか



こころ通う会議

市民 活動 支援枠

活動内容

住民自らが様々な地域課題を解決する手法や自らの健康や生きがいについて学ぶ場として、市民主体による運営組織「心豊かな暮らし会議とよさか」を設立し、豊栄支所を会場にして毎月1回講演会を開催しています。

補助金の使い道

地域課題の解決と生涯学習及び福祉をテーマにした講演会を毎月開催しました。参加者は豊栄町を中心に広く呼びかけ自由参加としております。「家庭で出来るリハビリ」「薬の正しい飲み方」「睡眠と生活リズム健康法」などのタイトルで講演を行いました。3月には認知症への理解を深めるためオリジナル劇を上演し、関係者が出演しました。

達成できたこと

貴重なリアル講演会を豊栄町で開催することが出来ました。講演会を重ねるごとに参加者同士の知り合いも増え「シアエル」関係の土台作りが出来つつあります。

今後チャレンジしたいこと

豊栄町内の6つの自治協にある福祉部会の部会員にもこの活動に参加いただき、運営委員の世代交代が起きても活動が維持できるような体制を構築したい。

連絡先
高橋 百合子



高屋町南部 地域野生動物 問題連絡会



市民 活動 支援枠

地域での効率的な鳥獣害対策(ツール開発)、 住民支援

活動内容

鳥獣被害対策を被害を受けている農家個人だけの問題としないで野生動物が移動する範囲の地区が連携する事により効率的な対策を実施する。この為必要となる道路部分の対策装置の開発、住民啓蒙活動等を行う。

補助金の使い道

道路上の動物進入防止装置の開発、動物の捕獲用の電気止め刺し器を購入し貸出しを行った。又、各種住民啓蒙活動を行った。

達成できたこと

動物進入防止装置の試作機を作り、昨年10月より実証テストを実施中。東広島市防災フェアに危険動物への対処方法を展示した。

今後チャレンジしたいこと

野生動物の学習・慣れに対応する為、引き続き動物進入防止装置の改良・改善を行う。各自治協等住民同士が連携し、鳥獣被害の無い地域づくりを行いたい。

<https://sites.google.com/view/yaseidoubutumondairenrakukai/>



Himitsukichi ひみつきち



学校以外の道を選ばざるを得なかった親子の伴走

市民
活動
支援枠

活動内容

学校以外の道を選ばざるを得なかった親子の伴走をしたいと思い活動を始めた。不登校の子を育てた経験を持つ親や現在育てている親たちが「学校に行かなくても未来は閉ざされていない。」「自分を責めないで自分らしく生きてほしい。」「保護者の方のしんどさに、そっと寄り添い伴走したい。」と願い活動しました。

補助金の使い道

こどものやりたいことを応援したいと思い活動した。

- ・お菓子やパン作りの原材料
- ・ハサミや折り紙など
- ・使用料など

達成できたこと

参加者が少しずつ増え、ひみつきちを知ってくださる方も増えた。子どもたちの笑顔が見られた。

今後チャレンジしたいこと



申込フォーム
メール:himitunoibasyo@gmail.com



インスタ



一般社団法人
東広島
青年会議所



伝統の絆、未来への架け橋 国境を越えて響き合う
東広島音頭と盆踊りの輪

市民 活動 支援枠

活動内容

外国人市民と地域住民が、絞り染め体験や東広島音頭・盆踊りを通じて交流し、東広島の伝統文化への理解を深める活動を実施しました。地域の歴史や文化を学びながら、多文化共生の推進と新たなコミュニティ形成を図り、言葉や文化の違いを越えて交流できる場づくりに取り組みました。

補助金の使い道

絞り染め体験や盆踊り練習に必要な材料費・会場費・講師費用・広報費に加え、外国人参加者向けのやさしい日本語を用いたチラシ制作や、文化理解を深める動画制作等に充当しました。

達成できたこと

外国人市民と地域住民が、東広島音頭や絞り染め体験を通じて交流し、地域文化への理解を深めるとともに、言葉や文化の違いを越えた多文化共生意識の向上と新たな交流の場づくりにつながりました。

今後チャレンジしたいこと

伝統文化体験だけでなく、防災や地域活動とも連携し、外国人市民が地域社会へ継続的に参画できる多文化共生のまちづくりに挑戦していきたいです。

連絡先 TEL : 082-422-6889

HP : <https://www.hhjc.jp>

Instagram : @higashihiroshima_jc



市民 活動 支援枠

白市活性化プロジェクト

活動内容

- ①第2回白市むしろ鳥居まつり
- ②夏休み学習会
- ③第2回白市町家アートフェスを開催
- ④第2回白市町家ひな祭り
- ⑤郷土誌「わがまち白市・東高屋」編纂
- ⑥史跡、寺社の清掃活動

補助金の使い道

- ①郷土誌「わがまち白市・東高屋」の編集に関わる経費や印刷費。
- ②各イベントのポスター、チラシ印刷費、材料費など。
- ③案内板製作のための材料費

達成できたこと

郷土誌刊行により、歴史と文化のまち白市の魅力をまとめ、発信できた。また、文化財活用した各イベントでの地域の教育機関との連携が強化された。

今後チャレンジしたいこと

歴史薫る町並みを調査、整備、修景し、重要伝統的建築物保存地区を目指す

shiraihimachiya@gmail.com
shiraichimachiya.net
<https://www.instagram.com/shiraichimachiya?igsh=M2Zmbm03bXg1MjCZ>
<https://www.facebook.com/share/1b4eCpZdHF/?mibextid=wwXIfr>



次世代による
東広島の
戦争・原爆
体験継承
ネット



Peace Bearers(次世代の担い手)
による2つのプロジェクト推進

市民
活動
支援枠

活動内容

戦争・原爆体験の継承について、若い世代による主体的な活動を支援。具体的には、市内の二つのモニュメント(東広島市原爆死没者慰霊碑・賀北部隊原爆被災者救援之碑)を基軸とした慰霊および体験や実相の継承に係る活動。さらに、戦争・被爆体験に係る手記や書籍、資料等のデジタル化と情報発信。

補助金の使い道

8月3日「東広島市原爆死没者慰霊式」に係る慰霊碑清掃および慰霊式ならびにピースイベントの運営経費。「東広島の戦争・原爆体験の継承」に係る運営経費。また、様々な戦争・原爆に関わる体験記・手記等のデジタル化、意識調査等に必要な機器の購入や回答結果の分析。

達成できたこと

平和関連の各イベントについては若い世代が主体的かつ意欲的に活動に参加し、そうした活動によって自己肯定感や社会的役割を自覚できている。

今後チャレンジしたいこと

東広島の戦争・原爆体験に係る証言や手記等のさらなる掘り起こしや整理・デジタル化を推進。また活用手段や活動の担い手として次世代を生きる若者の支援の継続。

連絡先：代表 大石秀邦
(090-1334-9510)

HP:<https://pebeh.net>



つくれば工房

市民 活動 支援枠

農村と市街地の人を結ぶ、遊休農地を
活用した市民体験農園の立ち上げ

活動内容

農村部に広がりつつある遊休農地を「市民体験農園」(つくればマイクロ農園)として活用し、市街地住民に農体験の場を提供する。農園には野菜づくり用の区画だけでなく、蕎麦や陸稲、蓼藍などの有用植物栽培スペースも作り、広い意味での「ものづくり」を楽しむ場とする。

補助金の使い道

- 1) 農地への進入路整備
- 2) 共用農機具及び収納倉庫整備
- 3) 共用水槽整備
- 4) 太陽光電源による揚水装置とリモート気象モニターの設定
- 5) 農業に関する講演会、講習会、既存の体験農園との情報交換会を開催

達成できたこと

広島市、呉市、東広島市街地の住民に農体験の場を提供すること。同町内の他地区の農地所有者の賛同を得て、新たな活動拠点で運営を継続実施する準備ができた。

今後チャレンジしたいこと

運営する「漫画図書室」や「ものづくりスペース」を継続拡充し、世代を超えて交流できる場づくり。県内に点在する体験農園間連携と運営を補佐する組織を提案したい。

連絡先

tsukurebakoubou@gmail.com



パピコ

市民 活動 支援枠

「パピ★コレ」
～パピコ写真展&ファッションショー！

活動内容

パピコメンバーを対象に、プロの写真家による撮影を実施し、その作品を展示いたしました。撮影では、メンバー一人ひとりの個性や魅力を引き出すことを目的とし、表現の機会を創出しました。また、最終日には撮影で使用した衣装を着用し、ファッションショーを開催いたしました。ファッションショーには一般参加者も募集し、パピコメンバーとともにランウェイを歩く形式とすることで、交流の機会を設けました。

補助金の使い道

写真撮影時の撮影、メイクの委託料、また講師・アシスタントへの謝礼および交通費、写真展の場所代、パネル作成費に使わせていただきました。

達成できたこと

メンバーの個性や魅力を最大限に引き出し、来場者の皆様に強い印象を与えました。障がい者に対する理解促進およびイメージ刷新に寄与できました。

今後チャレンジしたいこと

2026年度はパピコメンバーがカフェの店員にチャレンジします。なかなか障がい者と触れ合う機会のない方に彼らの魅力を最大限に活かせるカフェにしていきたいです。

善村実苗:090-2800-8385
Instagram:papico_saijo
YouTube:パピコチャンネル



東広島市不登校支援ネットワーク 強化事業

市民 活動 支援枠

活動内容

東広島市内の不登校支援団体や支援者をつなぐネットワークを構築し、支援情報の可視化と連携強化に取り組んだ。具体的には、支援団体を一覧化した支援マップの作成・配布、複数団体による連絡協議会の運営、市民向けシンポジウムの開催を実施。分散していた支援情報を整理し、当事者や保護者が適切な支援にアクセスしやすい環境づくりを行った。

補助金の使い道

支援マップの制作・印刷費、シンポジウムの広報物作成費、会場使用料等に活用した。特に、複数団体の情報を整理・編集し、分かりやすく伝えるためのデザイン費や印刷費に重点的に充当。

達成できたこと

支援団体同士の横のつながりが生まれ、連携による活動の広がりが見られた。また、支援情報の整理により、当事者や保護者が相談先を見つけやすくなり、地域全体で支える基盤づくりにつながった。

今後チャレンジしたいこと

支援マップの継続的な更新とネットワークの拡充を図り、より多くの関係者を巻き込む仕組み化を進める。あわせて、情報発信や連携のデジタル化を進め、持続的に運営できる体制構築に取り組む。

西高屋駅前
まちづくり
実行委員会
G11plus



第2回 西高屋駅前
夏の学園祭×eスポーツ

市民
活動
支援枠

活動内容

- ・学生による縁日屋台、作品展示、ワークショップなど
- ・まちあかり、地域からの出店、ワークショップなど
- ・eスポーツのプロ選手を招いて交流会を開催とグッズ販売
- ・キッチンカー、アルコール類販売

補助金の使い道

- 【賃借料】: eスポーツ関連機材、大型照明機器。
- 【委託料】: eスポーツ関連業務、ガードマン。
- 【印刷製本料】: チラシ・ポスター、当日配布資料。
- 【学生縁日経費】: 出店準備、ワークショップ材料など

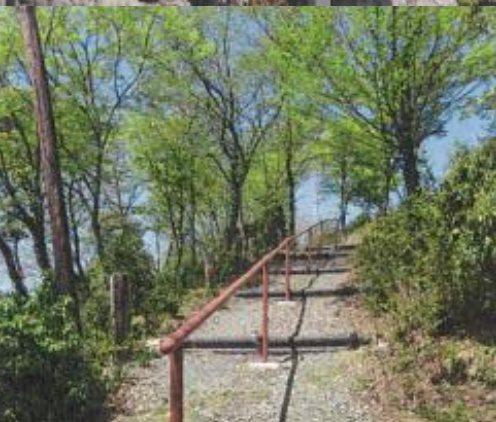
達成できたこと

企画・運営を学生と地域が協働で行い、学校・企業など関係人口も前年に比べ増えた。多世代がeスポーツを通して交流ができ、賑わいが生まれた

今後チャレンジしたいこと

多くの学生にまちづくりに興味を持ってもらい、新しいアイデアを出しチャレンジしてクリエイティブな勝動に繋げていくまちづくりのリーダーを次々に輩出していきたい。イベントの関係人口を増やし、地域の活性化に繋げていきたい。

代表 菅井(080-8239-3070)
【ホームページ】<https://g-eleven.space>
【Instagram】@g11_llc



板鍋山なごみ園内の公園階段への
「てすり」設置工事

住民
自治協議会
支援枠

活動内容

これまで展望台のリニューアルに加え、展望台に続く「しあわせ坂」への新しい階段設置などに取り組んできましたが、この度は登山される皆様が楽に登れるよう、市民協働のまちづくり活動応援補助金を活用して、約200m続く「しあわせ坂」に「てすり」を設置いたしました。

補助金の使い道

工事は、「手すり基礎ブロック設置」「現地加工溶接てすり組み立て」「モルタル目地仕上げ」の工程で完了。総工費は125万円で、うち補助金は住民自治協議会支援の最大額を活用させていただき大変助かりました。

達成できたこと

新展望台に続く「しあわせ坂」はかなりの勾配があり、高齢の方や足腰の衰えた方々にとっては登頂が困難でした。しかし「てすり」ができたことにより、比較的楽に登れることが可能となり、皆様には大変喜んでいただけるようになりました。

今後チャレンジしたいこと

私たちの郷土の誇りでもある板鍋山が、県央を代表する山として県内外に広く認知されるようになり、未永く愛されてゆくことを今後とも期待をもって見守ってゆきたいと思いをします。



小谷小学校区
市民協働
まちづくり
協議会



こどものまつり、みんなのまつり

住民
自治協議会
支援枠

活動内容

・小谷小学校において「なつまつり」を盛大に開催しました。

(主な内容)

子ども向けのゲームコーナー、
屋台やおまるめ山バスお絵かき
コーナー設置、
こどもむけのゲーム大会、
盆踊り大会の開催など

・小谷小学校南側の稲田にて花火大会を行いました。

補助金の使い道

主に備品の購入

- ① スピーカーの購入(2基)
- ② 提灯の更新 (200個)
- ③ 金属探知機の購入(1式)

達成できたこと

・準備、運営等の活動を通じて地の方、団地の方の交流が図られ、地域コミュニティの希薄化の解消に効果があったと考える。

・又、今後の地域の活性化に役立つことが期待できる。

今後チャレンジしたいこと

・雨の日にも対応できるように準備要領を整備していきたい。

・また地域在住の外国の方も参加、国際交流も楽しめるなつまつりにしていきたい

連絡先:小谷地域センター
082-434-3758

三永まちづくり協議会

支え合い、みんなで創ろう、ふるさと三永

三永
まちづくり
協議会

サロン合同懇談会

2026年3月30日（月） 三永地域センター

サロン合同懇談会を初めて開催しました。各サロンの活動内容を報告し合い、さらに3つのグループに分かれて、日頃の悩みや工夫していることについて意見交換を行いました。交流を深めるとともに、今後の活動につながる有意義な時間となりました。



三永まちづくり協議会 公式ホームページ



三永まちづくり協議会 公式Instagram



市民ポータルサイトを利用した
電子回覧板の活用促進

住民
自治協議会
支援枠

活動内容

令和6年7月より市民ポータルサイトを利用した電子回覧板サービスの運用を始めました。本活動では、高齢者の市民ポータルサイトの登録者の増加を目指して、三永地域で活動しているサロンや地域団体に市民ポータルサイトを活用した電子回覧板の登録と詳しい操作説明を目的とした出前講座を実施しました。その活動状況についてはホームページに掲載し、活動の認知度の向上にも努めました。

補助金の使い道

市民ポータルサイトの出前講座費用
(資料の作成費、プロジェクターの購入費、講師の報奨金、飲料などの食糧費)
ホームページ作成費用(業者委託費)

達成できたこと

電子回覧板の登録者数が約50人増えた。ホームページを作成し、三永まちづくり協議会や地域の情報について発信する土台ができた。市民ポータルサイトや電子回覧板の存在を周知することができた。

今後チャレンジしたいこと

紙の回覧板が届いていない世帯や離れて暮らしている方たちに電子回覧板について知ってもらい、登録してもらえるようにアプローチしていきたい。

連絡先:082-426-0636
ホームページ:<https://minaga-mk.sakura.ne.jp/wp/>

雨天中止のため 写真なし

みんな集まろう
西志和夏まつり 2025

住民
自治協議会
支援枠

活動内容

まちづくり・にぎわいづくり・人づくりの最終年度として位置付け、ステージ発表、盆踊り大会、夜店、抽選会、打ち上げ花火大会の実施に向け、計画に基づいて準備を進めていたが、まつり当日、午後から雨脚が強くなり、警報発令の心配も大きく、開始2時間前に参加者、出演者、スタッフの安全確保が難しいと判断、協議の上、急遽夏まつりを中止することにしました。

補助金の使い道

まつりは中止となったが、それまでかかった費用やステージ、花火のキャンセル料等は支払わざるを得なくなり使用した。

達成できたこと

まつりは中止としたので成果を上げることはできなかったが、それまでの計画・準備の段階において、実行委員として地域の色々な方にかかわっていただくことによって、まちづくりにおける担い手の開拓に大きく寄与できたものとする。

今後チャレンジしたいこと

自己資金等でこの夏まつりは継続することとし、準備を進めている。西志和地域のまちづくり・にぎわいづくり・人づくりの為、今後も夏まつりを継続していきたいと考える。



東志和
住民自治
協議会



志和の中央にそびえる
“生城山の観光地化”計画

住民
自治協議会
支援枠

活動内容

志和町の中央にそびえる生城山を ①伐採による美しい景観づくり ②安心・安全な登山道づくり ③史跡看板の作成による歴史の伝承 ④登山者を増やすための諸策の実施(登山MAP作成、抽選による登頂記念プレゼント、登頂イベントの実施等)により登山者に愛される山にし登山者を倍増させ郷土の魅力ある観光資源として次世代に引き継ぐことを目的とする

補助金の使い道

①美しい景観づくりのための雑木林の伐採②安心・安全な登山道づくりのための登山道整備(頂上の草刈り経費、急坂への階段設置等)③登山MAP作製④抽選による登山者への志和特産物プレゼント経費

達成できたこと

1. 実行委員会を立ち上げ推進団体の連携強化を図ることが出来た(3自治協議会を始め、郷土史研究会、ウォーキング協会、志和小中学校、寺院など)
2. 事業の目的・活動内容を説明し地元大企業(8社)からも高額な協賛金を頂戴することが出来た

今後チャレンジしたいこと

課題について地域での共感と納得が大切です。現在自治協議会では旧東志和小グランド・体育館を地域(住民)のためにどう活用するか?!「跡地活用プロジェクト」を立ち上げワークショップを開催し将来像を構築しつつあります



もっと“ふれ愛”交流会の実施

連携活動
支援枠

活動内容

最終目標は地域センター駐車場拡張に感謝し、2つのイベント実施することで自主サークル数を増やし、サークル会員を増やすことで令和8年度センター来館者を大幅に増やしたい！1つは現在開講の20の自主サークル会員に集合いただき、お互いの活動を紹介し合うことで参加者を増やす、もう一つはご高齢者支援団体(志和住みよい町づくりネットワーク、地域食堂あずまや)と連携しご高齢者に集合いただきお茶を飲みながら(ふれあいカフェを開催)医療・介護・終活の講習を行いました

補助金の使い道

サークル指導者への講師料、サークル紹介映像作成、参加者への食事代、参加記念品、機関誌作成経費等です

達成できたこと

1. 令和8年4月から2つの新規自主サークル(書道、己書)を開講することとなりました
2. 映像・実演による紹介及び体験コーナーにより会員数の増員を達成できたサークルが4月現在5サークルとなりました

今後チャレンジしたいこと

自主サークル及び主催講座参加者に地域センター開講講座をPRし複数のサークル・講座への参加者を増やしていきたい



寺西
まちづくり
推進協議会



寺西楽しい音楽祭

継続活動
支援枠

活動内容

寺西地域にある寺西小学校金管バンド・中央中学校吹奏楽部・西条中学校吹奏楽部・賀茂高等学校吹奏楽部と寺西地域センターを拠点に活動している東広島ウィンドアンサンブルの5団体が、1200名の参加者の前で、それぞれ演奏した。また最後に、参加者全員で東広島ウィンドアンサンブルの演奏により、「ふるさと(嵐バージョン)」と「故郷(唱歌)」を合唱した。

補助金の使い道

補助金の多くは、出演団体の楽器の運搬費にあてた。また、会場駐車場の警備費(2人)や出演者へ配布するパン・ジュース代に使った。

達成できたこと

地域の人同士が打ち解けあい、日頃からコミュニケーションや連携がスムーズに図れるようにするためのきっかけづくりとして大変有効であった。また、音楽活動を通して、異世代の交流も図ることができ、参加者からも好評であった。

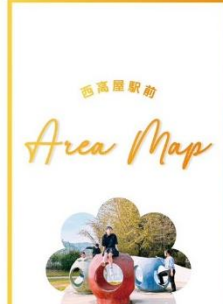
今後チャレンジしたいこと

今回の行事が、地域や近隣の住民を知るきっかけとなり、住民同士のつながりを深め、防災などの活動にもつなげていきたい。

連絡先 寺西地域センター

西高屋のまちを歩く
エリアマップ

駅周辺の魅力を伝える「エリアマップ」を作成し、地域の魅力を発信する。学生が主体となり、取材、編集などを行ったが、プロの方へ監修や印刷・発行に関してお手伝いをいただいた。



クリエイティブ タウンを創る 学生の会



学生のやりたいことを
クリエイティブに実現

学生団体 支援枠



地元に残される商店街
歩いて見つける、まちの魅力

「西高屋駅前」の魅力を伝える「エリアマップ」を作成し、地域の魅力を発信する。学生が主体となり、取材、編集などを行ったが、プロの方へ監修や印刷・発行に関してお手伝いをいただいた。

活動内容
西高屋駅前で高性能なパソコンなどを整備して、クリエイターを育てる環境を整える「クリエイター学園都市構想」というものがある。今回の活動では、学生のアイデアとして西高屋駅周辺にある飲食店などをまとめた「西高屋エリアマップ」を作成した。

補助金の使い道
「西高屋エリアマップ」を作成するにあたり、学生が主体となって取材、編集などを行ったが、プロの方へ監修や印刷・発行に関してお手伝いをいただいた。講師料や印刷製本費などに充てた。

達成できたこと
取材を通して、西高屋駅周辺の情報を収集できたことで、この土地ならではの魅力を再発見することができた。一方で、「エリアマップ」の発行を通じて、多くの方に見てもらおう出版物を発行する大変さを痛感することができた。

今後チャレンジしたいこと
スケジュールや人員などのリソースについて考えが足りていなかった部分が多く、円滑に進めることができなかった。今回の反省点を生かし、「クリエイター学園都市構想」を実現に繋がられるように努めたい。

東広島市の自然共生サイトに係る
保全活動

学生団体
支援枠

活動内容

東広島市内で繁茂する特定外来生物オオキンケイギクの駆除を行うとともに、広島大学「発見の小径水辺ゾーン」を対象に草刈りや伐採木の持ち出しを実施する保全活動を行いました。

あわせて、自然共生サイトを生涯学習の場として整備し、自然観察会を通じて学生や市民が身近な自然環境の価値と課題を学ぶ機会を提供しました。

補助金の使い道

外来種駆除および自然共生サイトの整備・観察会の実施に必要な物品や資材の購入に使用させていただきました。また、ボランティア参加者への飲み物代に充て、安全かつ継続的に活動できる体制を整えることができました。

達成できたこと

在来生態系の保全と生涯学習の場づくりを進めることができました。また、学生や市民が参加することで、地域の自然環境への関心と保全意識の向上につながりました。

今後チャレンジしたいこと

オオキンケイギクの駆除活動の広報を行い、パンフレットの作成を行いたい。また、自然共生サイトの利用マニュアルのような紹介する冊子についても作成してみたいです。

連絡先: 会長 中村
hnakamurabio@gmail.com